

●はじめに

このたびは、当社の「摘便・直腸内与薬ユニット」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品は看護師教育新カリキュラムの技術項目に対応する「摘便」「直腸内与薬」実習用ユニットです。看護教育用実習教材としてご使用ください。

●特 徴

- ・直腸部に模擬便をセットし、摘便の実習を行います。模擬便は固形化した硬便と柔らかい軟便の2種類を用意しています。
- ・肛門部は生体の近い感触の得られるしまり具合を設定しており、適正な座薬挿入の深さの確認や挿入状況を実習できます。

セット内容と各部の名称



●構 成

- a. ユニット本体 1点
- b. 模擬便(硬便) 10点
- c. 模擬便(軟便用小麦粉粘土) 1式
- d. 模擬座薬(大・小) 各5点
- e. 潤滑剤 1点

摘便実習

① 準 備

- ① 摘便・直腸内与薬ユニットの直腸部をユニットからはずし、中に摘便用キャップがはまっているか確認してください。直腸部の取付けはネジ式になっているので、左回しではずしてください。
- ② 中に摘便用キャップがはまっているのを確認し、ユニットに直腸部を取付けてください。
- ③ 摘便・直腸内与薬ユニットを本体に取付けてください。
他の実習ユニットが本体にはまっている場合は交換してください。



② 実 習

- ① 摘便用の模擬便(硬便・軟便)は、肛門部より中に入れセットします。その場合は指に潤滑剤をつけてから行ってください。模擬便は実習内容に合わせて硬便、軟便を選んでください。
軟便(小麦粉粘土)は水を含ませて硬さを調節できます。
- ② 摘便の実習は必ず指に潤滑剤をつけてから行ってください。



③ 実習後

- ① 摘便・直腸内与薬ユニットを本体からはずしてください。
 - ② 直腸部と摘便用キャップを摘便・直腸内与薬ユニットからはずしてください。
 - ③ ユニット部に残った模擬便を取り除き、ユニット本体やキャップ部の汚れを中性洗剤等で洗ってください。洗浄後は十分に乾燥させ、パウダーを付けてから直腸部や摘便用キャップをユニット本体に取り付け、保管してください。
 - ④ 模擬便(硬便)はなくさないよう容器や袋に入れ保管してください。模擬便(軟便・小麦粉粘土)は乾燥するとすぐに硬くなってしまうため、密閉できる容器に保管してご使用ください。
- ※小麦粉粘土は、固くなってしまっても水分を含ませると柔らかくなりますので再度使用することは可能です。

直腸内与薬実習

① 準 備

- ① 摘便手技と同様に準備を行います。直腸内与薬手技の場合は摘便用キャップをはずした状態でご使用ください。直腸内与薬手技はキャップは不要です。

② 実 習

- ① 直腸内与薬の実習は必ず指に潤滑剤をつけてから行ってください。
- ② 直腸内与薬の実習に使用する模擬座薬は直腸部にたまる構造です。



③ 実習後

- ① 摘便と同様に直腸部を摘便・直腸内与薬ユニットからはずし、ユニット本体や直腸部・模擬座薬の汚れを中性洗剤等で洗ってください。洗浄後は十分に乾燥させ、ユニット本体部はパウダーを付けてから、直腸部や摘便用キャップをユニット本体に取り付け、保管してください。
- ② 模擬座薬はなくさないよう容器や袋に入れ保管してください。

・ご不明な点は、お買い上げの販売店、もしくは下記 (株)京都科学まで御連絡ください。



株式
会社 京都科学

URL ● <http://www.kyotokagaku.com>
e-mail ● rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

■本社・工場

〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地
TEL: 075-605-2510(直通) FAX: 075-605-2519

■東京支店

〒112-0002 東京都文京区小石川5丁目20-4
TEL: 03-3817-8071(直通) FAX: 03-3817-8075

本書の内容は、予告なしに変更することがあります。本書の内容の一部もしくは全部を当社に無断で複写・転載することを禁じます。本書の内容に、万一不審な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、当社もしくは販売店にご連絡ください。